


<p>584号 2016年7月22日</p> <p>共同実施を断念させよう</p>	<p>第</p> <h1>東学</h1>	 <p>東京都学校事務職員労働組合 東京都新宿区高田馬場 3-14-14 03-3367-6783 東学 Web http://tougaku.net/</p>
---	----------------------	---

2017年度教育予算要求

～労働条件には労使交渉で応じるべきだ～

東学は7月12日、都教委に対し「2017年度教育予算要求書」を手交し、約20分間の要請を行った。都教委からは荒木予算担当課長、加倉井勤労課長等、4名が出席した。

東学は、事務職員の労働条件にかかわる諸問題について一方的に「管理運営事項」として組合との話し合いを拒否しないこと、労使が信頼関係の下に誠実に話し合うことが、健全な労働条件整備・職場のモラルアップ、教育条件整備には不可欠であることを強く申し入れた。

個別には

- 労働条件に重大な変更をもたらす「小中学校事務の共同実施」については、一方的な「情報提供」のみを行うのではなく、誠実な交渉を行うこと。
- 補正定数・共同実施校での定数基準の改悪を撤回すること。小中学校において、最低でも1校1名の基本定数は遵守すること。
- 労働強化や職場管理強化をもたらす「標準的職務」や「校務改善」を撤回すること。
- 小中学校において、従来の定数基準では600名を超える大量の欠員が生じている。従来の定数基準どおりの定数配置を行い、欠員を早急に補充すること。
- 公教育を無償化すること。当面は、違法状態にある学校徴収金を公会計化すること。とりわけ給食会計は、早急に公会計化すること。高校授業料無償化を復活(所得制限の撤廃)するよう国に働きかけること。
- 地方公務員法「改正」や「都庁組織・人事改革ポリシー」での職責・能力・業績主義の徹底・強化と信賞必罰の処遇徹底は、行わないこと。

などを要求した。

また都立学校事務室(経営企画室)の人員体制の欠陥・長時間労働は、定数削減・非常勤化、無計画な新規採用大量配置や局間異動などに加え、2014年度から始まった就学支援金事務、さらに今後は申請時の所得確認にマイナンバーの使用が計画されているなど、事務量の増大・煩雑化により、限界を超えていることをデータをもとに訴えた。

今回も都教委の回答は例年と同じく「要請は承った。関係各部署へお伝えする」という型通りのものであった。東学は今後、職員の労働条件にはきちんと労使交渉で応じるよう、個別課題において都教委に求めていく。

【労働条件には労使交渉で応じるべきだ】

自己申告制度・業績評価制度などの人事考課制度や、学校事務の共同実施、「校務改善」など賃金その他の労働条件に大きく影響するにもかかわらず、都教委が「管理運営事項」として労使

交渉はおろか、話し合いにもほとんど応じていないものは、残念ながら現在のところ多い。

2014年度の定数基準改悪(要準用・規模補正定数の廃止など)の際も、都教委は一片の「情報提供」のみをもって強行した。全国に例を見ない暴挙だ。その結果、小中学校は、標準定数法に定める基準では600名を超える大量の欠員が生じている。

【都立学校事務室の人員体制の欠陥・長時間労働は限界】

都立学校は監査の指摘が局の中でもトップで、それも飛び抜けて多い。そこには、都立学校事務職員の人員体制の欠陥と関わっていると思われる特徴がある。

これまでに指摘数が増加したのが、2005年度定例監査(2004年度執行分)で7件。前年度の2003年度は転入110人と多数の局間転入があった年だ。その後も2004年度転入123人、2005年度転入107人と多数の局間転入が続いた。

さらに2009年度定例監査(2008年度執行分)では25件の指摘があった。前年度の2007年度は学校経営支援センターが発足し、都立学校の事務職員が各校2名削減になった年だ。2010年度監査(2009年度執行分)で15件。2年続けて局別でトップの指摘数になっている。

2015年度定例監査(2014年度執行分)では22件。2番目の交通局12件から見ても、この指摘件数の多さは異常と言える。2014年度からは定数1人を非常勤2人に置き換えが始まっている。

新規採用は2004年度頃から数十名、上昇傾向で推移していたが、2016年度はついに120人という異常な数字となった。

課長代理の配置数も都庁平均と比較すると低い実態にある。

定数削減に加え、他局からの転入者・新規採用・非常勤職員の増加、そしてなおかつ中堅・ベテラン職員の数が圧倒的に不足してきている都立学校の事務室では、職場内研修の体制も誤りのチェック体制も機能しなくなり、事務処理能力が低下している。

【都立学校の新規採用数、監査指摘数の推移等】

年度	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
新採	10	12	37	69	45	37	35	27	44	56	79	不明	83	69	120
監査指摘	5	1	7	3	6	7	25	15	9	10	6	5	22	未実施	未実施
備考		局間 転入 110	局間 転入 123	局間 転入 107		センタ ー発 足、各 校2名 削減							非常 勤置 換開 始		新採 三桁

【編集後記】

「ユダヤ人のIQの高さは安息日を守っているから」という記事に遭遇した。筋トレと同じく「鍛えて休む」というのがいいのだそうだ。え、そうなの。金曜日の日没から土曜日の日没まで。現代生活ではなかなか難しいところもあるが、できる範囲でやってみた。

IQはともかくとして、生活にメリハリがつくという点では確かによさそうだ。「安息日」にボーッとしていると、思いがけないアイデアが浮かぶことがある。逆に日曜日でも「今は安息日じゃないから」と思うとダラダラしなくてすむようだ。

(加入のお申し込み・ご相談先)

本部連絡先: 世田谷区若林小学校・事務室 松永哲次 TEL03-3413-0655

地区連絡先: